

○ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化する中、田万川水系・須佐川水系においても、流域全体でハード・ソフト一体となった事前防災対策を進める必要があることから、あらゆる関係者の協働により、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

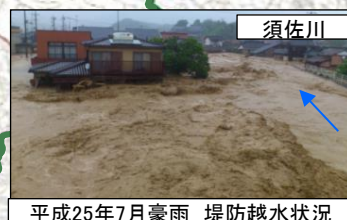
- ・河川改修（田万川・須佐川）
- ・河川浚渫（田万川・須佐川）
- ・水田の貯留機能向上（田万川）
- ・森林の整備・保全及び治山対策（田万川・須佐川）

■被害対象を減少させるための対策（共通）

- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知（田万川・須佐川）
- ・河川監視体制の強化（田万川・須佐川）
- ・総合防災システムの整備（田万川・須佐川）
- ・防災アプリケーションの整備（田万川・須佐川）
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達（田万川・須佐川）
- ・防災行政無線のデジタル化（田万川）
- ・出前講座等を活用した防災教育の推進（田万川・須佐川）
- ・自主防災組織の育成や活動の支援（田万川・須佐川）
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進（田万川・須佐川）



【位置図】



凡例

- 二級河川
- 流域界
- 森林整備センター
- 洪水浸水想定区域【計画規模】
(計画規模: 田万川1/50、須佐川1/30)
- 洪水浸水想定区域【想定最大】
- 洪水浸水想定区域図の公表済み区間

○ 田万川水系・須佐川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の工程で「流域治水」を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（田万川・須佐川）	山口県	築堤工、護岸工、橋梁工、河道掘削工等		
	河川浚渫（田万川・須佐川）	山口県、萩市	河川浚渫		
	水田の貯留機能向上（田万川）	山口県、萩市	ほ場整備、田んぼダムの検討等		
	森林の整備・保全及び治山対策（田万川・須佐川）	森林整備センター、山口県、萩市	森林の整備・保全、治山対策		
被害対象を減少させるための対策	防災まちづくりの検討に必要な情報の整備（田万川・須佐川）	山口県	多段階な浸水リスク情報		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知（田万川・須佐川）	山口県、萩市	作成・周知・利活用		
	河川監視体制の強化（田万川・須佐川）	山口県、萩市	R5山口県土木防災情報システムのリニューアル システム更新	簡易型水位計・河川監視カメラ等の整備・利活用	
	総合防災システムの整備（田万川・須佐川）	萩市	R3整備	運用	
	防災アプリケーションの整備（田万川・須佐川）	萩市	R3整備	周知・利活用	
	防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達（田万川・須佐川）	山口県、萩市	機能強化・普及・啓発		
	防災行政無線のデジタル化（田万川）	萩市	R3～4整備	運用	
	出前講座等を活用した防災教育の推進（田万川・須佐川）	山口県、萩市	防災教育の充実・強化		
	自主防災組織の育成や活動の支援（田万川・須佐川）	山口県、萩市	率先避難体制の整備・地域防災力の向上		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進（田万川・須佐川）	山口県、萩市	避難の実効性確保		

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進